

#痴漢ゼロ



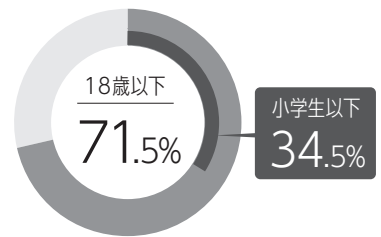
あなたの声が動かしています。

私たちは2021年、痴漢被害実態調査のアンケートに取り組み、国会、都議会での質問や、鉄道会社への申し入れなど「痴漢ゼロ」を政治の課題にするためにとりくんできました。



▲ 吉良よし子、山添拓参院議員と党都議団でJR 東日本への申し入れ

初めて被害にあった年齢
子どもの頃から被害に



2023年から始動

国 痴漢撲滅政策パッケージ

政府が痴漢ゼロ実現のための政策を発表。本気の対策への第一歩です。被害者の支援を強める・加害の防止対策・第三者の介入（アクティブバイスタンダー）を増やすことなどが示されました。

24年には受験生への痴漢を防ぐために、共通テストの日の警察の取り締まり強化、被害にあった場合に追試を受けられることの周知などがはじまりました。

都 痴漢撲滅プロジェクト

初の痴漢被害の調査を実施。10代は痴漢被害にあいやすく、守る対象として位置付ける、包括的性教育が必要と報告。都営大江戸線に女性専用車両導入。

痴漢対策の基本認識

- ① 痴漢は重大な犯罪である
- ② 痴漢の被害は軽くない
- ③ 被害者は一切悪くない
- ④ 被害者を一人にしていけない
- ⑤ 痴漢は他人事ではない



シングル女性 困難に政治の光を

「なかったことにしないで」—シングル女性の困難にはこれまで光が当たってきませんでした。男女の賃金格差が大きい中、貯金もできずに「死ぬまで働かなければならない」という声も多くあります。シングルで生活している方々が、安心して生きていける社会に変えるため、社会保障や雇用制度などの改善、あらゆる分野でとりくみます。

ジェンダー平等

本気ですすめる、
社会をよくする

日本のジェンダーギャップ指数は146か国中118位。世界最低水準です。15年連続で世界一のアイスランドからジェンダー平等が人々の幸福度、健康面、経済良好化などの好影響をもたらすことを学びました。



Gender Gap

15年連続で世界一

G7で最下位

アイスランド

日本



総合順位
男女格差指数 (スコア)

1位 / 146か国
0.912

118位
0.647

世界経済フォーラム「ジェンダー・ギャップ指数 2024」より

大使! / アイスランドはどんなとりくみしてますか?

日本共産党東京都委員会ジェンダー平等委員会は、5月28日に公開セミナー「世界で一番ジェンダー平等の国——アイスランド大使に聞く」を開催。



ジェンダー平等は経済や社会の発展において重要な要素である
86%の父親が育児休暇を取得
一定人数の企業には男女同一賃金の証明を義務付け
真のジェンダー平等社会を実現するには男性たちの協力が不可欠

日本共産党がとりこんできた ジェンダー課題

男女賃金格差、性暴力、ケア労働や家族的責任、リプロ…私たちの暮らしとジェンダーの課題は切り離すことはできません。日本共産党は、ジェンダー平等を求めるみなさんと連帯し、本気でジェンダー平等にとりくむ政治をつくります。



吉良よし子がとりこんできたジェンダーに関する質問一覧

(2019~2024)

国会

公式HP



- 2019.05.16 > 就活セクハラ深刻 実態把握と法律での禁止要求 (厚生労働委員会)
- 12.05 > 就活セクハラ深刻 実態把握と法律での禁止要求 (文科委員会)
- 2021.03.06 女子受験生の入試差別について「あってはならない」大臣答弁引き出す (予算委員会)
- 03.16 下着の色を指定など人権侵害の校則は見直しを (文科委員会)
- 04.27 男女別定員制なくせ 都立高入試の性差別ただす (文科委員会)
- 05.20 > 児童生徒への性暴力禁止一わいせつ教員防止法可決 (文科委員会)
- 05.27 > 児童生徒への性暴力禁止一わいせつ教員防止法可決 (文科委員会)
- 06.11 コロナ禍のもとでのDV被害防止、経口妊娠中絶薬の低廉な価格での導入を (本会議)
- 2022.02.28 フリーランスの働き方、産休育休について (予算委員会)
- 04.07 博物館長に女性登用を 指導的地位へ (文科委員会)
- 04.13 産前産後の国会出席一意見表明の記録は憲法変えずに実現可能 (憲法審査会)
- 05.16 映画、演劇界の性暴力、ハラスメント根絶へ (文科委員会)
- 05.25 留学生の妊娠を理由とした不利益な取り扱い改めよ (文科委員会)
- 11.16 ジャニーズ問題 性暴力をなくす体制、二次加害を許さない、相談窓口を (決算委員会)
- 2023.04.10 包括的性教育を求める「生殖過程について教えない『歯止め規定』」は撤廃を (文科委員会)
- 2024.04.01 性犯罪から子どもを守れ／「共同親権」で提起／当事者の声きき慎重に (決算委員会)



共産党都議団 19人の力でとりこんできたジェンダー課題 (本会議)

(2021~2024)

都議会

- 1200人からのアンケート回答をもとに、痴漢・盗撮ゼロのとりくみを質問一痴漢撲滅プロジェクトを開始
- 生理の貧困 (生理用品の配布)、学校における生理休暇の導入、生理の際のプールの対応一都立高校に設置
- パートナースhip制度一22年11月から制度開始 (24年12月31日時点で1518組が利用) さらにファミリーシップを提案
- 性暴力被害者のワンストップ支援センターの増設と拡充一24年1月からLINE相談を実施
- シングル (単身) 女性一東京の世帯の半分が単身であることをふまえ、住まい、相談窓口などの支援を提案
- 無意識の偏見 (アンコンシャスバイアス)、性暴力などを見て見ぬふりをしない行動する第三者 (アクティブバイスタンダー) の推進を提案し、都が施策を具体化
- 男女賃金格差、世界一長い女性の労働時間などの改善を求める提案
- 女性支援法の具体化一若年女性の支援、性搾取への対応
- 「官製婚活」批判、リプロダクティブヘルス&ライツ、包括的性教育の推進



東京
民報

2025年春号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社 (港区芝1-4-9平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可